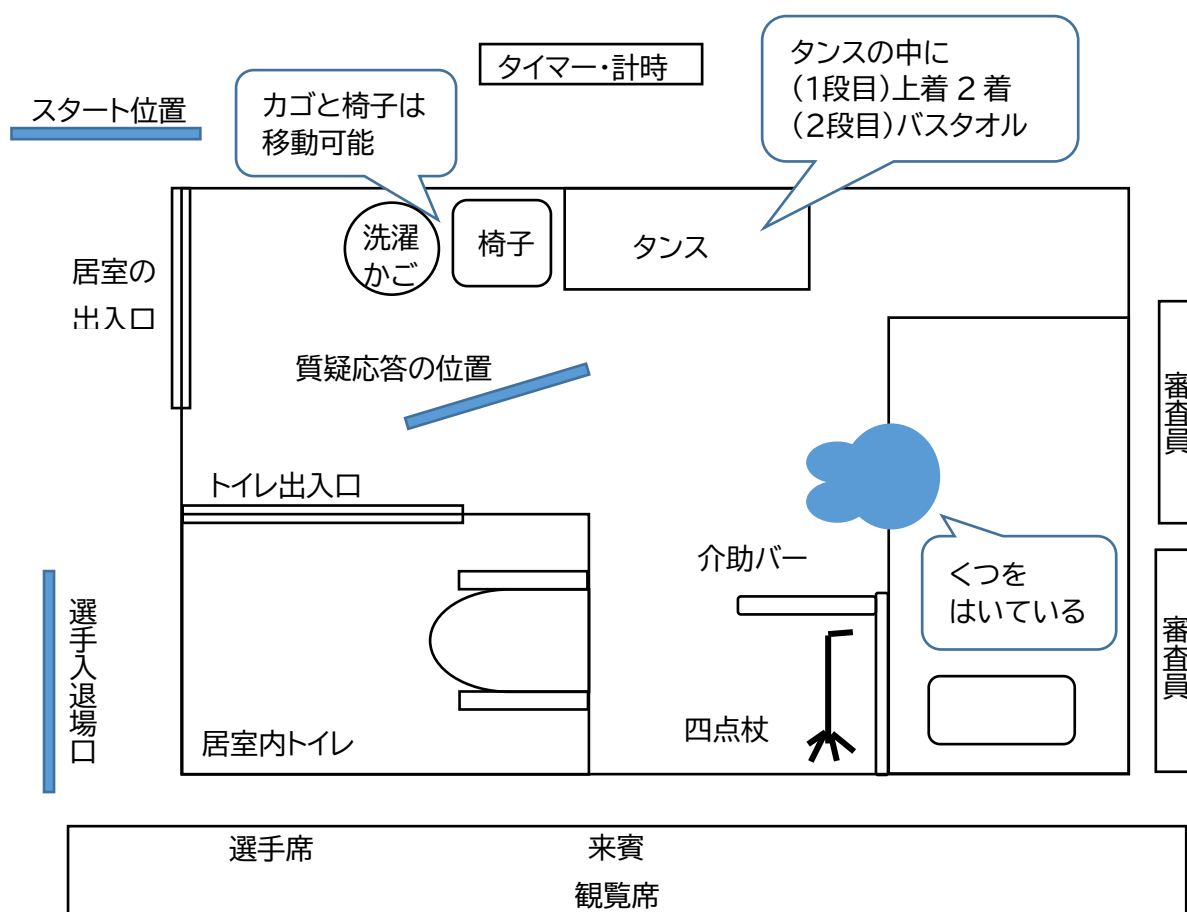


令和5年度 佐賀県高校生介護技術コンテスト(2人介護部門) 課題

山本アサヒさん(88歳)は現在、居室のベッドに端座位の状態です。今から午後のレクリエーション活動の時間です。今日のレクリエーションは楽しみにしていた生け花なので、参加したいとおっしゃっています。

レクリエーションのあるホールに行くための準備として、居室にあるトイレに杖を使って移動し、排泄の介助を行い、杖を使って居室を出るまでの介助をしてください。なお、途中で上着を着る介助をしてください。

- ※ 介護者は利用者の排泄の準備が整ったら「終わったらお知らせください」と伝えてください。
- ※ トイレの出入り口の線から介護者の両足がでた時点で、ドアを閉めたとみなします。その時点で利用者が「終わりました」と言うので、排泄後の介助をしてください。
- ※ 利用者が「終わりました」と言った時点で、陰部の清拭まで終わっています。
- ※ 競技の都合上、トイレトーパー、下着の着脱、手洗いは省略します。
- ※ 利用者の両足が居室から出た時点で「終わりました」といって競技を終了してください。



山本アサヒさんの心身の状況

88歳(性別不問)。77歳のときに脳梗塞になり、その後遺症で右麻痺(拘縮)があります。

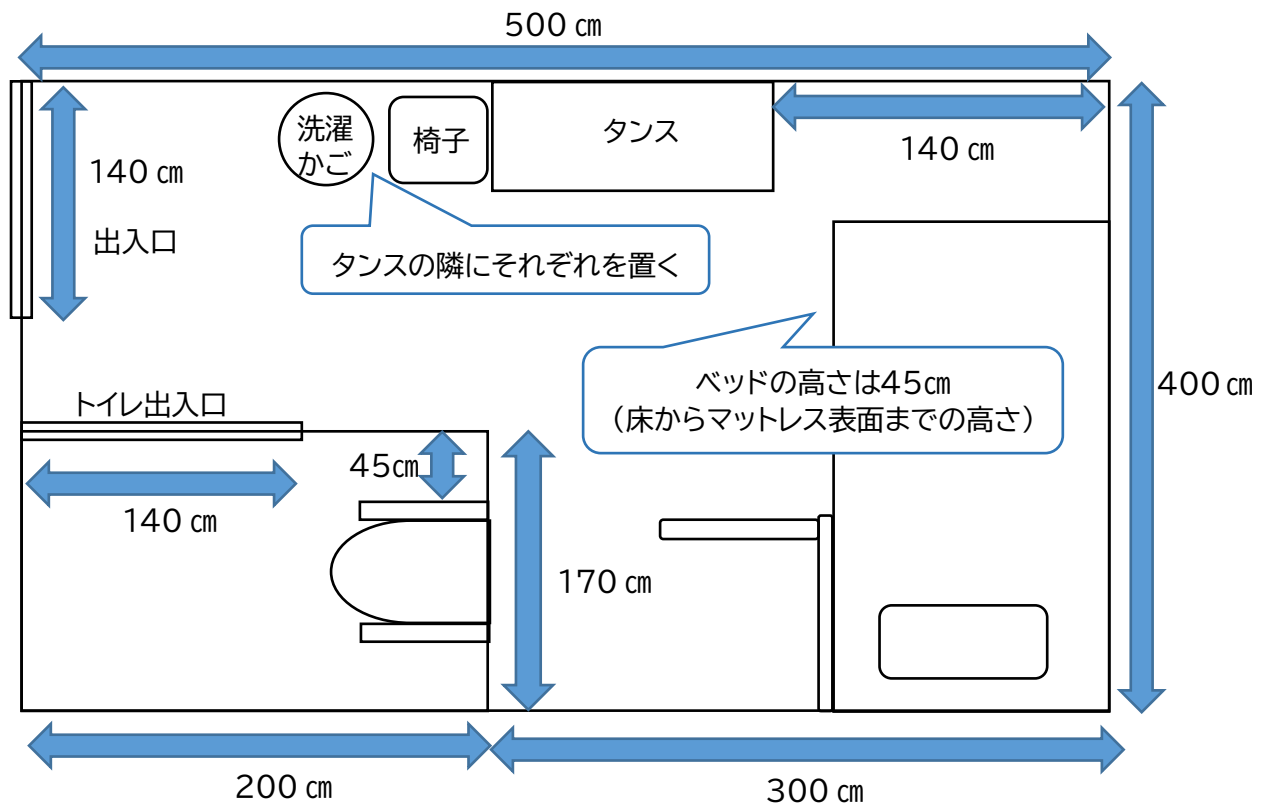
「自分の足でしっかり歩けるようになりたい」とおっしゃっていて、杖での歩行訓練をされており、移動時は杖を使っています。今も歩行訓練のリハビリを継続されています。立ち上がりや座るときには支えが必要ですが、立位は杖や手すりなどのつかまるものがあれば安定されています。山本さんは活動などに意欲的に参加される方です。

午後のレクリエーションの時間が近づいたので、排泄を済ませてからホールに向かおうと思った山本さんは職員を呼びました。

物品

手すり付きのポータブルトイレ(設置されているトイレとみなす)、四点杖、着替えの上着(2着)、くつ、バスタオル、3段タンス、介助バー、肘置き付きの椅子、洗濯かご

会場の寸尺



競技上の確認事項

- ・今回は排泄介助があるので、利用者の性別は明記しません。
- ・居室の室温、床の障害物などの確認は省略します。
- ・スタートは「居室の外」から、終わりは「利用者の両足が居室から出て、介護者が「終わりました」と言った時点」とします。
- ・競技終了後の質疑応答は以下の4つです(順不同)。
 - 「心身の状態に応じた介護について工夫したところ」
 - 「利用者とのコミュニケーションで工夫したところ」
 - 「利用者の自立支援について工夫したところ」
 - 「フリー質問」
- ・競技の制限時間は7分です。
スタートラインから足が離れた時点から計時を開始し、選手が「終わりました」と言った時点で計時を止めます。
- ・質疑応答は、1つの質問に対して1分以内で答えてください。
- ・計時は「カウントアップ」、質疑応答は「カウントダウン」です。
- ・選手はマスクを外して競技をしてください(利用者はマスクをしています)。

追加の確認事項(6/5)

- ・ベッドの高さは45cm(床からマットレス表面までの高さ)
- ・トイレの座面の高さは43cm
- ・椅子の隣に洗濯かごを設置します。
- ・タンスの中は、1段目に「上着 2 着」、2段目に「バスタオル」が入っています。
- ・利用者のズボンは、各校から持参したものを利用者が着用します。
- ・終わりは、「利用者の両足が居室から完全に出了た状態」で、介護者が「終わりました」と言ってください。
- ・質疑応答について
 - 「質疑応答A」…「コミュニケーション全般について、工夫した点を教えてください」
 - 「質疑応答B」…「心身の状況に応じた介護について、工夫した点を教えてください」
 - 「質疑応答C」…「山本さんの自立支援について、工夫した点を教えてください」
 - 「質疑応答D」…「実践した介護全体を通しての質問」を審査員の先生方で協議してもらいます。